

# 倉敷市個別避難計画作成の進め方

(自主防災組織・地域団体編：台本形式)

# 目 次

1	対象者の選定	1
2	計画作成の同意・対象者の情報収集	2
3	福祉専門職からの情報収集と地域への協力依頼	4
4	会議の開催	5
5	調整会議	7
6	計画の共有	10
7	作成後の管理	10

## 1 対象者の選定

- ・役員程度の少人数で実施するのが望ましい。
- ・民生委員も地域の福祉関係者という立場で作成に協力をお願いする場合もあるが、対象者との関係性を考慮する。
- ・今回の台本は、進行役＝会長で想定している。

**進行役** 本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

我々の自主防災会でも「個別避難計画」の作成を進めていこうと思いますが、対象者全員を一度には作成できないので、まず一人作成しようと思います。

最初の1件目は地域で人間関係が良好な方が作成しやすいのではないかと思います。どなたを作成しましょうか。皆さんの中で、名簿に載っている人で普段から親しくしている人はいますか？

（役員と親しい対象者がいる場合）

**進行役** では、〇〇さんの個別避難計画を作成しましょう。

（役員と親しい対象者がいない場合）

**進行役** この名簿の中で、近所付き合いがありそうな人は誰ですかね？

**役員** 〇〇さんはよく近所の△△さんと話をしているのを見る。

**進行役** では△△さんにもご協力いただいて、〇〇さんの個別避難計画を作成しましょう。市に伝えて様式をもらっておきます。

様式が届いたら、一度〇〇さんの家に行って個別避難計画についてどういったもので、なぜ必要なのかをお話して、作成する意思があるかどうか聞こうと思いますが、（対象者と親しい役員）さん、一緒に行ってもらえませんか。できれば事前に連絡を取って、話が分かる家族も同席してもらえると嬉しいのですが。

**対象者と親しい役員** はい。

- ・作成する人について市に伝える。
- ・市から様式が届いたら「2 計画作成の同意・対象者の情報収集」へ。

## 2 計画作成の同意・対象者の情報収集

- 対象者と親しい人が事前に電話などで訪問することを伝えるのが望ましい。
- 話が分かる家族（近所に住んでいる息子や親せき）が同席できる方が望ましい
- 知らない人が大勢で訪問すると、警戒される恐れもあるため、2～3人以内で訪問すること。

**親しい役員** こんにちは、〇〇さん。今日は、個別避難計画についてお話をしに来ました。

この個別避難計画というのは、災害が起きそうな時に一人では避難することが困難な方について、あらかじめ「いつ」「どこへ」「誰と一緒に」「どうやって」避難するのかを、具体的に決めておく「命を守るための計画」です。

我々自主防災会（町内会）も災害が起きた時に〇〇さんの避難を、できる限りお手伝いしようと考えていますが、我々も身の安全を確保したうえでのお手伝いになりますので、この計画ができたからと言って絶対に助けれる、とは言えませんが、〇〇さんの命を守れる確率を少しでも上げるために必要な計画です。

また、ご家族の協力なしでは、避難計画も立てられませんし、実際の災害の時も安全に避難するためにはご家族の協力が一番です。ご家族にもご協力をいただきながら**避難計画を作成したいと思いますがよろしいですか。（同意は必須）**

**対象者** はい。よろしくをお願いします。

**親しい役員** では、まず、〇〇さん、

- 話せる範囲で結構ですので教えていただいて、その情報を基に計画の素案をみんなで考えたいと思います。
- 同居以外でご家族はいますか。
- その方は、こういったご関係ですか。

- どちらにお住まいですか。
  - その方にまず、この様式の必要事項を記入してもらうことは可能ですか。
  - ご家族でできない部分を我々、自主防災会を中心とした近所のみなんでお手伝いさせていただきます。
  - お体の状況や日常生活はどんな感じでしょうか。（家の中で手すり無しで歩くことができるか、自力歩行ができるか、車椅子、歩行器の使用はしているか、屋外での移動補助器具の有無、車までは行けるか、トイレは介助が必要かなど）
  - ご近所で仲の良い方はいますか。
  - その方に〇〇さんの避難支援をお願いしても大丈夫ですか。連絡先が分かれば教えてください。
  - ケアマネージャーさんや相談支援員など、福祉関係者は何という事業所の方ですか。
  - その事業所の連絡先と担当者のお名前を教えてください。
  - 担当者に〇〇さんの体の状態等をお聞きしても良いですか。
  - 避難するとすればどこに避難しますか？小学校の避難所では避難生活が心配な場合、ご家族がお迎えに来ることは可能ですか？もし不可能であれば、先ほどの仲のいいご近所の方をお願いしてみようと思います。
  - 台風の時など期間の短い避難生活の場合、介護施設のショートステイなどを利用することも可能ですが、ショートステイを利用する意思はありますか。
  - 簡易トイレなどの備えがあれば 2 階への垂直避難も可能ですが 2 階に上がれますか。（浸水深が 3m 以下の場合のみ可）
- （最後に）今日、聞かせていただいた、支援をしてくれそうなお近所の方に、我々から〇〇さんの個別避難計画の作成について説明をします。その方たちと〇〇さんにご家族が集まっ

てもう少し細かく支援の内容を決めていこうと思います。  
今日はありがとうございました。

### 3 福祉専門職からの情報収集

- 福祉事業所へ連絡する。
- 福祉事業所は業務としての協力であるため、平日の日中に電話する。

**進行役** 私は、〇〇自主防災会の（自分の名前）と申します。今、〇〇さんの個別避難計画を作成しているところで、〇〇さんから（ケアマネージャーの名前）さんがご担当だとお聞きしたのでお電話しました。

また、〇〇さんからも、ケアマネージャーさんからお体の状態等をお聞きすることの承諾をいただいています。どのあたりまでお話しいただけるかは、ご本人にご確認いただく方が間違いがないと思いますので、ご本人にご確認いただければと思います。

ご確認いただいたのちに、一度お伺いして〇〇さんのお体の状態や日常生活の状況などを教えていただきたいのですがご都合の良い日はいつでしょうか。

（後日）

- 2～3名程度で訪問する

**進行役** よろしくお願ひします。ご本人やご家族からも体の状況についてお伺いはしましたが、ご本人が無理をしていたりする場合もあるということも聞いたので、客観的なアドバイスがいただきたいので、お話を聞かせください。

（本人の体の状況について本人に聞いたことを聞く。）

〇〇さんの場合、避難場所として、優先順位順に、ご家族の家、ショートステイ、〇〇小学校体育館を希望されていますが、大丈夫でしょうか。（介助は何人必要か？車での移動は可能か、何分程度の異動なら大丈夫か、バリアフリーではないトイレは使えるか、

など)

次に、避難生活で注意すべきことを教えてください。(薬の有無や、おむつなど準備しておくべきもの、など)

最後に、勤務時間内など、可能な限りで結構なので、〇〇さんがショートステイを避難場所として利用する際の手配や、避難準備の連絡などが可能であれば、避難サポーターとしてお名前を載せさせていただけないでしょうか。

以上です、ありがとうございました。

#### 4 地域への協力依頼

- ・近所の仲の良い人へ連絡する。(電話でも訪問でも可)
- ・民生委員も避難サポーターとなる場合もあるが、役職ではなく、本人や家族と知り合いであるなど、関係性を考慮する。

**進行役** 私は、〇〇自主防災会の〇〇と申します。今、〇〇さんの個別避難計画を作成しているところで、あなたと仲が良いとお聞きしたのでお電話しました。

(右肩に「避難支援者用」と書かれた、個別避難計画の説明用チラシを見せながら) まず、個別避難計画について、簡単に説明します。個別避難計画というのは、災害が起きそうな時に一人では避難することが困難な方について、あらかじめ「いつ」「どこへ」「誰と一緒に」「どうやって」避難するのかを、具体的に決めておく「命を守るための計画」です。

今回、〇〇さんの個別避難計画を作るにあたって、あなたにも〇〇さんの避難のお手伝いをお願いできればと考えています。

避難サポーターになったからといって、何があっても〇〇さんを助けに行かなければならない、というものではなく、あなたやあなたの家族の身の安全を確保した上で避難のお手伝いをいただくことが原則です。このため、この計画ができたからと言

って、必ず助けることができるというものではないことを、〇〇さんにも説明してご理解をいただいています。

また、避難のお手伝いというと、災害が起きている中、〇〇さんを助けに行くというイメージが強いかもしれませんが、基本的には、台風などの場合、事前に避難準備を促すための声掛けをしたり、ご家族と連絡を取っておき、市から「レベル3 高齢者等避難」が発令されたら避難させるというイメージです。

市が発令する「高齢者等避難」は災害が起きる前に、高齢者等が安全に避難できるよう、早めに発令されるものです。

また、災害に対しては、本来は自助が基本ですので、まずは〇〇さんご自身とその家族でできることをしていただき、できないことを地域で助けることとなります。地域の中でも、例えば声掛けはできるけれど、〇〇さんを車に乗せるのは無理など、個人個人でできることとできないことが異なります。また、お仕事などで平日の日中は地域にいないという方もおられます。できることをみんなが少しずつ出し合って〇〇さんを避難させる、というイメージです。

計画を作り、あらかじめ避難サポーターを決めておくことで、〇〇さんの避難がスムーズに行えるだけでなく、地域としても効率的に、より多くの人を避難させることが出来るようになります。

以上の内容をご理解いただいた上で、避難サポーターをお願いしたいのですがよろしいでしょうか。

**サポーター** わかりました。

**進行役** ありがとうございます。では、今度、〇〇さんご本人とご家族、避難サポーターの皆さんで集まって具体的な避難計画を作成しますのでその際にはよろしくお願いします。

## 5 会議

- ・本人、家族の都合を確認し福祉事業所、避難サポーターと日程調整する。
- ・本人の参加が困難な場合、家族の同席のみでもよい
- ・ここまでに聞き取った内容を鉛筆書き程度でよいので様式に書き込んでおき、人数分のコピーを用意しておく。
- ・様式すべての欄が埋まらない場合もありうるが、**最低限、避難場所 1 か所、避難サポーター 1 人を記載する。**

**進行役** ○○さんの個別避難計画作成のためにお集まりいただきありがとうございます。○○さんの体調を考えると、1 時間以内で会議を終わりたいと思いますので協力よろしくをお願いします。

顔見知りの方も、そうでない人もいますので、まずは自己紹介をしたいと思います。まず、私は、○○自主防災会の会長の○○と申します。今日はよろしくをお願いします。(以下順番に)

お手元にお配りしている個別避難計画ですが、今までに聞き取った内容を記入していますので、確認しながら、付け加え、修正を行っていただければと思います。

再確認ですが、○○さん、お名前、生年月日、年齢、要支援種別について間違いはないですか。また、名簿登録住所は、今住んでいるところの住所ですか。

連絡を取る場合の電話番号は何番でしょうか。性別は。

次に家族構成ですが、○○さんを含めて何人でお住まいですか。ペットはいますか。

次に、避難が必要なタイミングですが（以降は例です。実際に印字されているハザードについて考えてください）○○さんの場合、注意しなければいけない災害は、洪水の時に0.5～3mとなっています。土砂災害、高潮、津波については心配ありません。あと、○○さんのお家は昭和何年に建てられましたか。（想定：昭

和 60 年木造 2 階建て)

では、避難が必要なのは洪水の時ですね。地震の時には建物の倒壊の可能性は低いですが、余震に備えて広い場所に避難する必要があるのでその場合も考えておきましょう。

〇〇さんのご希望では、避難先の第 1 希望は、〇〇、第 2 希望は〇〇、第 3 希望は〇〇ということでしたが、よかったですか。

ケアマネさんとしては〇〇さんの状況を考えて、何かご意見や注意した方が良いことがあれば教えてください。

**ケアマネ** 〇〇〇

(意見に沿って修正が必要であれば対応してください)

**進行役** では、そこまでいつのタイミングで避難を開始しますか。「高齢者等避難」が発令される前の注意報くらいで避難準備をしておいた方がよいと思いますが、どなたか声掛けできる方はいますか。

次に、誰が、どうやって避難させますか？

(避難所や親せき宅に避難する場合) 洪水の場合、時間があるので、まずはご家族の方で移動させることは可能ですか。緊急時でご家族が間に合わない場合はどうしましょう。

(2 階に垂直避難させる場合) 階段を上ることは可能ですか。近所の人がいれば大丈夫でしょうか。

(ショートステイに避難する場合) 手配はケアマネさんかご家族でお願いしたいのですが大丈夫でしょうか。移動手段はどうしましょうか。

地震の時の避難については近くの広い場所に避難した方がよいと思いますが、だれが迎えに来れますか。

また、避難の際に注意すべきこと、気を付けてほしいことがあれば教えてください。

では、裏面の避難サポーター名簿について話し合いましょう。

避難サポーターの方の情報を記入していきますが、ご家族の方

が一番の避難サポーターであることから名簿に記載しています。また、左にある1～4の数字は優先順位ではありませんのでご注意ください。あくまで、避難サポーターそれぞれができる役割をできる範囲で行い、〇〇さんを避難させるものです。

- ・ 順番にお伺いしますが、お名前は間違いないでしょうか。
- ・ ご住所と緊急時に連絡できる連絡先を教えてください。
- ・ 支援の役割ですが、こういった支援を行っていただけますか。
- ・ ご都合の悪い時間や、夜間は車の運転ができないなど、お互いに共有しておいた方がよい情報があれば教えてください。

次に、この計画を共有する範囲について、決めたいと思います。多くの方が共有することで避難の確率は高まりますが、〇〇さんと避難サポーターの個人情報が多くの人につまびらかになるという面もありますので、そのあたりを考えながら共有範囲を決めましょう。まず、いざというときに避難サポーター同士も連絡を取り合う必要があるので、〇〇さんと避難サポーターは全員で共有するということがよろしいでしょうか。次に、自主防災組織、民生委員についてはどうでしょうか。

最後に、計画作成者・管理者を決めます。ご家族（又は自主防災会）が作成、管理を行うということによいでしょうか。また、ケアマネさんも福祉専門職のご意見をお伺いしたということで、記載してもよいでしょうか。〇〇さんのお体の状態が変わった場合や、避難サポーターの状況が変わった場合はこの計画を見直しますのでご連絡ください。

では、できた計画を〇〇さん（家族でもよい）にご確認いただき、問題なければ、後日、清書したものをお持ちしますので、署名をお願いします。代筆でも結構です。

今日は長時間にわたりありがとうございました。

## 6 計画の共有

- 本人又は家族に署名をもらう。
- 共有する人数＋市に提出する分をコピーする。
- 共有者にコピーを渡す。
- 市にコピーを提出する。
- 原本は管理者で保管する。

## 7 作成後の管理

- 実効性を確認するために避難訓練を行った方がよい。
- 避難訓練にはケアマネさんも同席していただくのが望ましい。
- 対象者や避難サポーターの体調に変更があった場合は、計画の見直しをする。